

ヘルスケア特論 (ヘルスプロモーション論)

《担当者名》 後藤 ゆり (非) y-goto@ts.siu.ac.jp

【概要】

ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである。本講義では、ヘルスプロモーションと地域の保健福祉活動の実践とを結びつけて理解することを目標とする。講義では、ヘルスプロモーションの考え方を理解するとともに、ヘルスプロモーションを展開する上での活動モデル及び評価について学ぶ。また、地域でのヘルスプロモーション活動の具体例を取り上げ、受講者でディスカッションするとともにそれに基づいた発表を行う。

【学修目標】

- 1) ヘルスプロモーションの理念を説明することができる
- 2) ヘルスプロモーションを展開するうえでの活動モデルを理解し、地域活動と結びつけることができる。
- 3) 具体的にヘルスプロモーション計画を立案できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 4	健康の概念とオタワ憲章についての理解	WHOによる「Primary Health Care」から「Health Promotion (オタワ憲章)」に至る背景及びこれらの概念を理解するとともに、日本における健康づくり対策の変遷にみるHealth Promotion概念の位置づけと課題を整理する。	後藤 ゆり
5 ) 8	健康福祉の活動モデル	保健福祉活動の活動モデルの考え方、活かし方について学ぶ。具体的には、保健信念モデル、トランスセオレティカルモデル等について理解する。	後藤 ゆり
9 ) 10	ヘルスプロモーションの実践事例の検討	ヘルスプロモーションの実践事例を基に理解を深める。	後藤 ゆり
11 ) 12	ヘルスプロモーションの評価	評価について理解・考察することを目標とし、量的評価と質的評価、プロセス評価とアウトカム評価についての理解を深める。	後藤 ゆり
13 ) 15	ヘルスプロモーション計画の策定と討議	受講者それぞれの興味のあるテーマについて、地域(組織)で実際に取り組まれている健康づくり計画を取り上げ、ヘルスプロモーションの理念に基づいて評価する。	後藤 ゆり

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(50%)およびレポート(50%)を総合評価する。レポート:13~15回で各自が取り上げたテーマに沿って授業での討議内容を反映させたものとする。

【教科書】

なし

【学修の準備】

- 1) 毎回の授業に関連づけて学んだ内容を整理しておく。
- 2) 演習課題を完成させ授業で発表できるようにしておく。